

OWNER'S MANUAL

MiStringer

Stringers Make Better Players

Tennis



このマニュアル冊子の内容です。

順に読み進んでください。

1 はじめにお読みください

・はじめにお読みください

... P1

・セットアップ

... P2

・ラケットセット・テンション設定・メンテナンス

... P3

A **MiStringer** スtringing手順説明書

1. Stringingガイド

1-1. ガット張りは簡単

... A-1 ~ A-3

1-2. Stringingパターン表の見方

... A-4 ~ A-5

2. Stringing開始

2-1. メソッドBでメインStringingから

... A-6 ~ A-13

2-2. 結び(ノット)

... A-14 ~ A-19

2-3. クロスStringing

... A-20 ~ A-31

3. Stringingウィーバー

... A-32

4. クランプの固定

... A-33

MiStringer 保証書

... A-34

別冊 Stringing Guide Stringingガイド

マニュアルムービー

理解を助ける意味で、「兵丹島」ウェブサイト内「ガットの張り作業お役立ち情報」「ガットの張り作業お役立ち動画(メーカーマニュアルムービー)」「**マイストリンガーマニュアルムービー**」をご覧ください。

YahooやGoogle等の検索エンジンで「兵丹島」と打ち込んでください。

サイトのURLは <https://hyotann.raku-uru.jp/> です。

兵丹島

はじめにお読み下さい

このたびは、MiStringer をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

最初にハードケースの中身を取り出して、本体・アクセサリーの有無をチェックしてください。
不足してるものがありましたら、「兵丹島」宛ご連絡下さい。

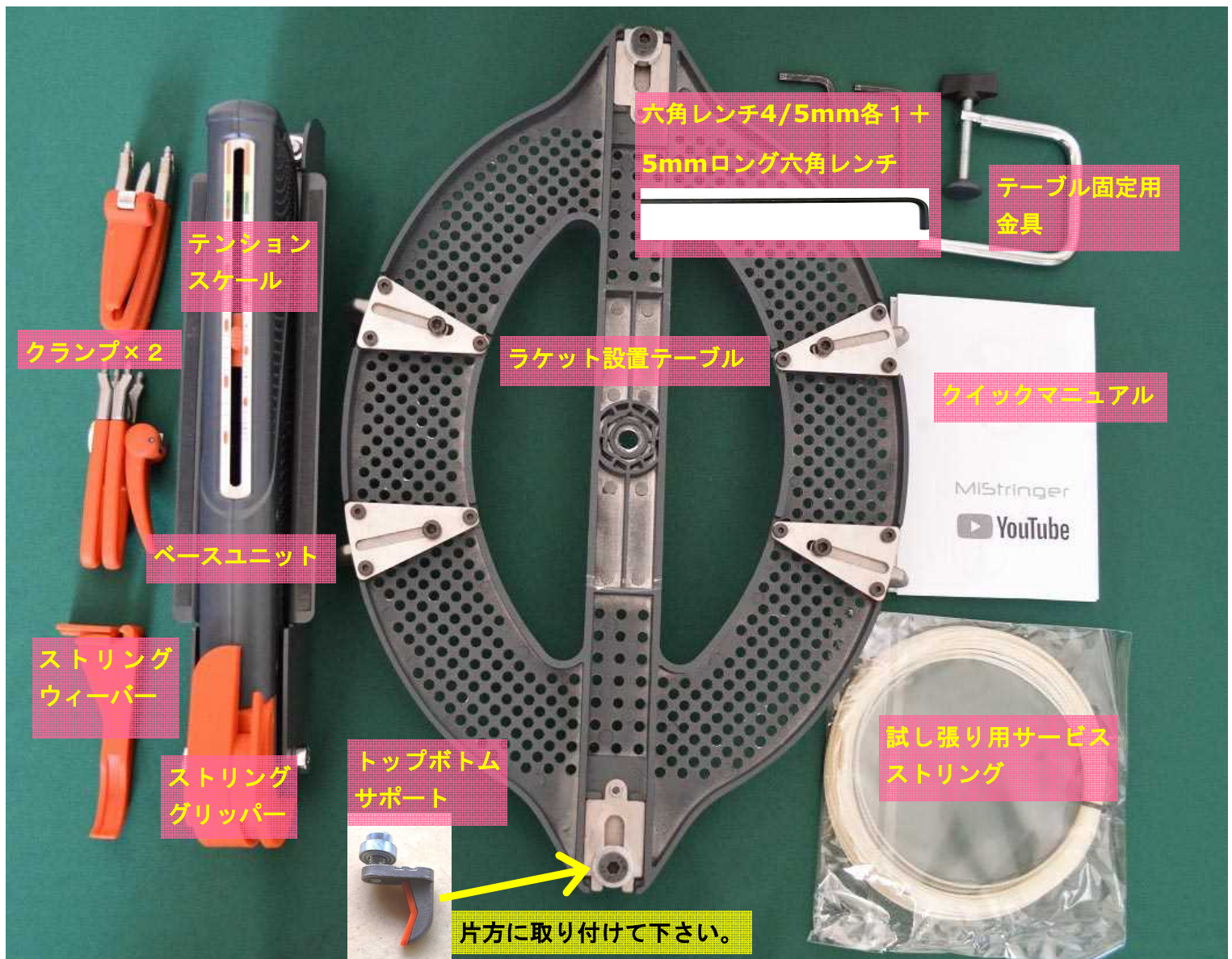
連絡先 Tel 072-751-9415 Fax 072-751-9414 携帯070-5432-3415 mail: hyotann@gaia.eonet.ne.jp

MiStringer マニュアルムービーNo.1を先にご覧ください

YahooやGoogle等の検索エンジンで「兵丹島 マイストリンガーマニュアルムービー」で検索して下さい。
「マイストリンガーマニュアルムービー」をクリックして下さい。

または、右記アドレスを入力して下さい。 <https://hyotann.raku-uru.jp/fr/28>

取り出した製品を下図のように並べて、部品確認をしてください。



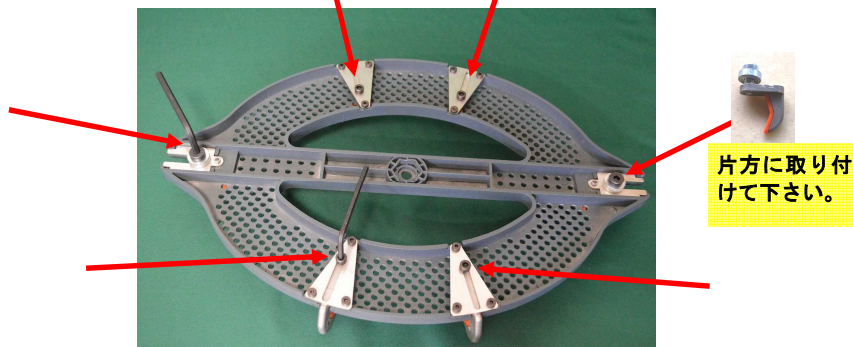
セットアップ・ラケット設置とメンテナンス

MiStringer マニュアルムービーNo.1を先にご覧ください。

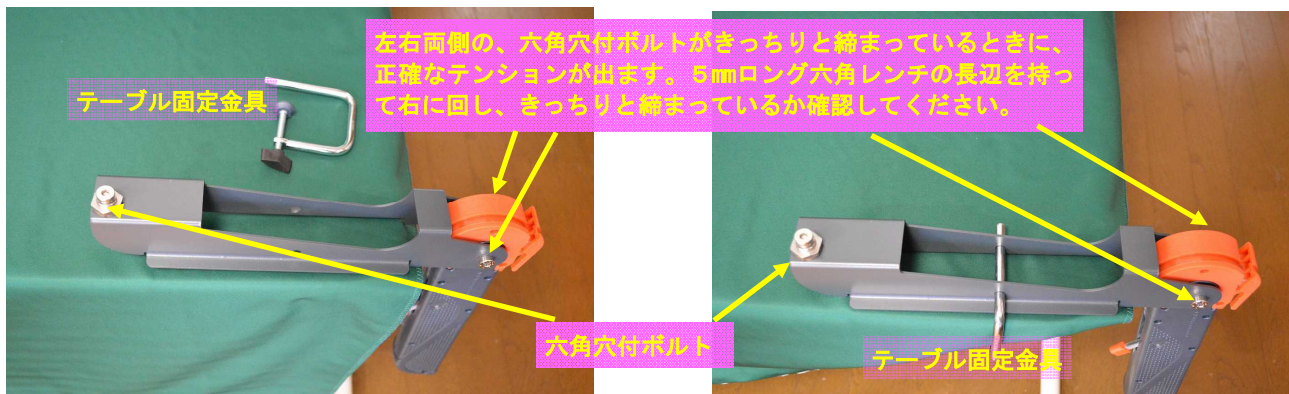
組み立て完成写真です。



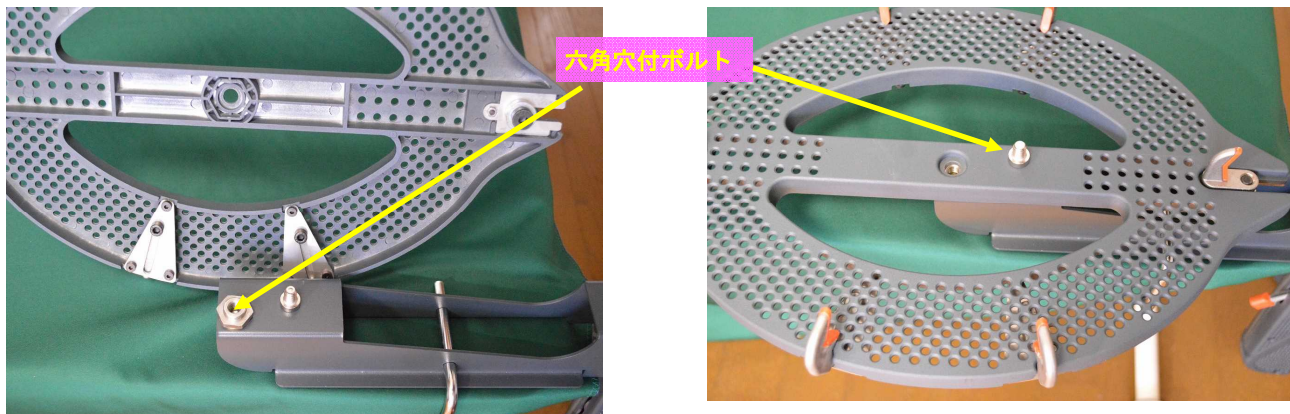
前処理：ラケット設置テーブル裏側、トップとボトム・左右4カ所のラケットフレーム固定部の六角穴付ボルトを六角レンチを使って緩めておいてください。マシン設置後のラケットセットが楽になります。



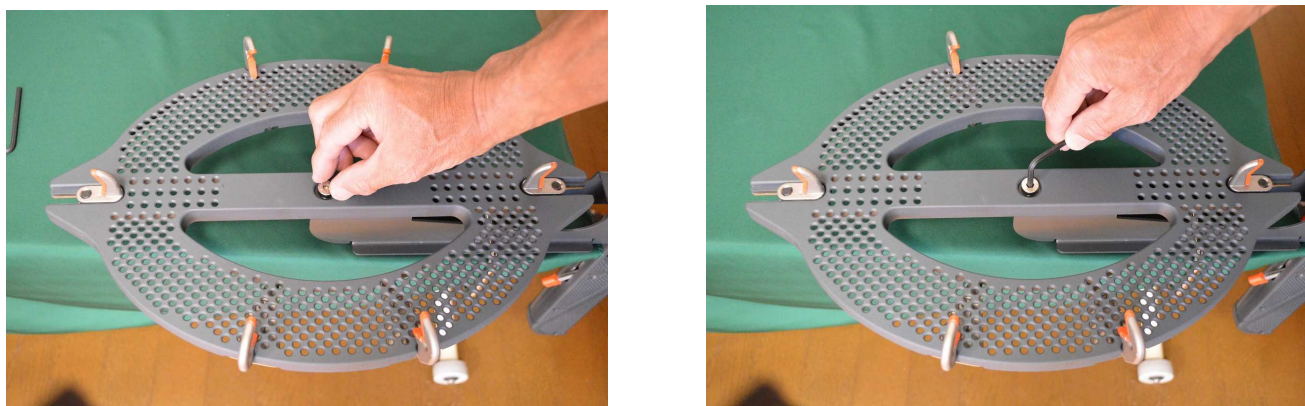
1. ベースユニットをテーブル固定用金具で作業テーブルに取り付けます。



2. ベースユニットにラケット設置テーブルを取り付けます。



ベースユニットから六角穴付ボルトを外し、ラケット設置テーブルの六角形の溝とベースユニットの六角形のナット部を合わせ、ラケット設置テーブルを六角穴付ボルトで取り付けます。



六角レンチ大(5mm)を使って、固定してください。

収納時は六角穴付ボルトを取り外すため、あまり強く固定しすぎないでください

これで、マシンの設置は完了です。

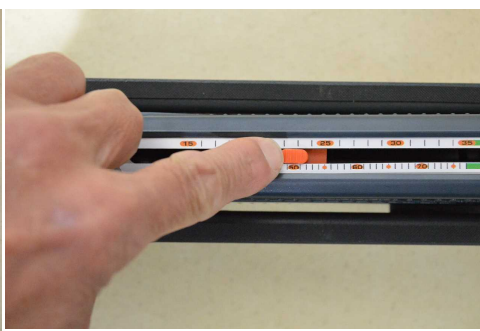
3. ラケットセット。MiStringer マニュアルビデオNo. 2 を先にご覧ください。

トップとボトム及び左右4カ所のラケット支持部をフリーにしてラケットをセットします。
6カ所ともラケットフレームに正確にセットし、六角レンチを使って支持部を固定します。
特に、トップとボトムの支持部はしっかり固定できているか再確認してください。



4. テンション設定。MiStringer マニュアルビデオNo. 2 を先にご覧ください。

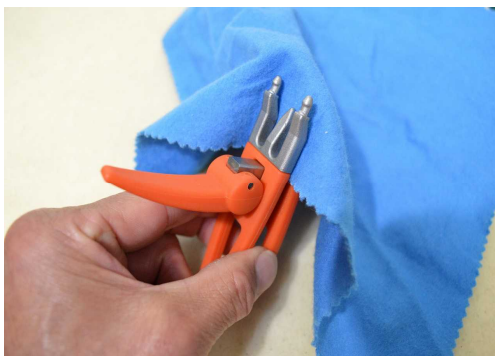
ベースユニットのテンション目盛りを動かして、テンションをセットします。
オレンジのカーソル中央でテンション設定してください。上段はキログラム、下段がポンド表示となっています。



左右両側の、六角穴付ボルトがきっちりと締まっているときに、正確なテンションが出ます。5mmロング六角レンチの長辺を持って右に回し、きっちりと締まっているが確認してください。

5. メンテナンス MiStringer マニュアルビデオNo. 6 を先にご覧ください。

1. クランプのストリングを挟み込む内側は、ストリングの表面に付着しているシリコン（油脂）がついてしまいます。ラケット6本分のストリング作業が終わった時点で、無水エタノール（薬局で1200円程度で販売されています。）をしみ込ませた布をクランプの内側に滑り込ませて、シリコンを除去してやってください。



2. より細かいストリングをクランプするためには、クランプの内側のすき間を狭くしてやる必要があります。手で回せれば手で、手だけで回せなければプライヤを使って右に回してやると間隔が狭くなります。太いストリングを使う場合は、左に回してやると間隔が広くなります。



3. シリコンがクランプに付着してしまうと同様に、ベースユニットのテンションをかけるためにストリングを挟むストリンググリッパーにもシリコンがついてしまいます。クランプと同様に、無水エタノールをしみ込ませた布をすき間に入れてシリコンを時々除去してやってください。



1. スtringガイド 1-1. ガット張りは簡単！

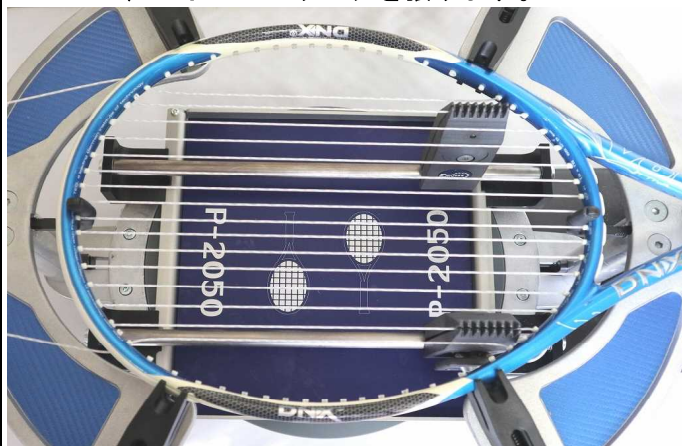
String経験者はこのページを飛ばしてA-10ページに進んで頂いても結構です。

A~Eの5つの項目を整理すれば、ガット張り作業はいたって簡単です。

基本：まずメインString（縦系）次にクロスString（横系）を張っていく“ツーピースString”

注意：ラケットの種類で、A~Eの数値が違います！（一部の説明図はテニスラケットを使用しています。）

はじめに、メインStringを張ります。



- A. メインStringは何本？
- B. メインを張るのに必要なStringの長さは？
- C. メインのスキップ（飛ばし）ホールは？
- D. メインの結び（ノット）のホールは？

次に、クロスStringを張ります。



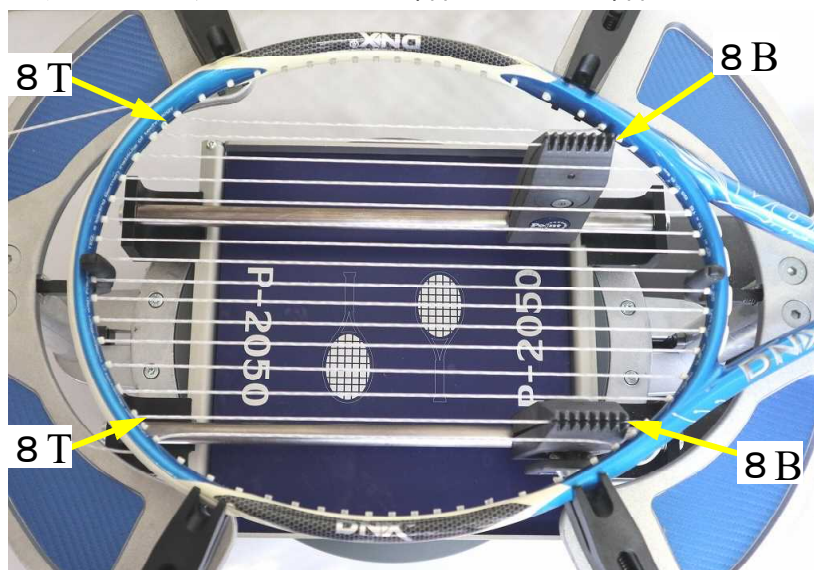
- A. クロスStringは何本？
- B. クロスを張るのに必要なStringの長さは？
- C. クロスのスタートホールは？
- D. クロスの結び（ノット）のホールは？

A. メインとクロスのStringの本数は=メイン20本（左右10本ずつ）：クロス18本=20M-18C

B. メインとクロスを張るのに必要なStringの長さは=メイン6m10cm：クロス5m50cm

=6m10cmM-5m50cmC

C. メインのスキップ（飛ばし）ホール=ラケットトップ8番目：ボトム8番目=8T：8B

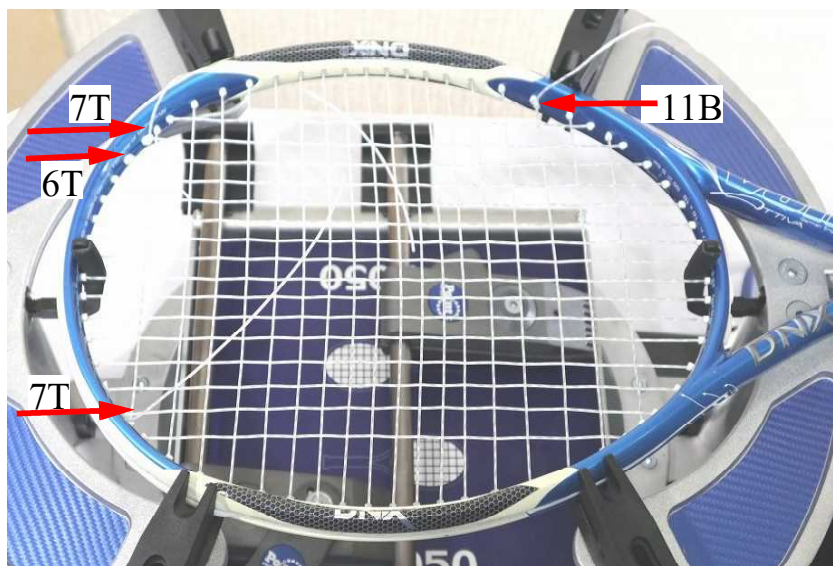


C. クロスのスタートホール=ラケットトップ8番目=8T・・・メインの最初のスキップホールと一致

D.メインとクロス結び（ノット）のホール：クロスは最初に結び（ノット）を作ってから張りはじめます。

メイン：ラケットトップ7番目・クロス：スタートはトップ6番目 フィニッシュはボトム11番目

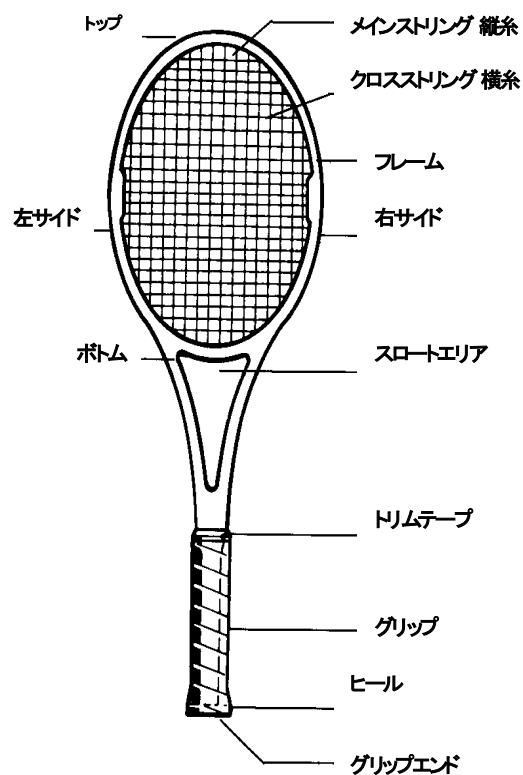
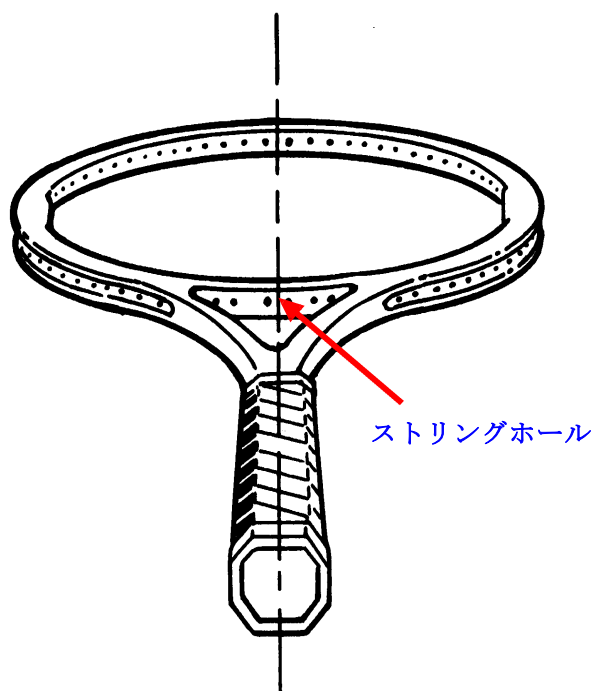
メイン=7T クロス=6T:11B



E.ラケットは“メソッドA型”か“メソッドB型”か？

最初のメインストリングを進めていく方向はラケットによって、2種類あります。

ラケットのスロートエリア（次図参照）にストリングを通すホールの数が何本有るかに決まります。



メソッドA：スロートエリアのストリングホール

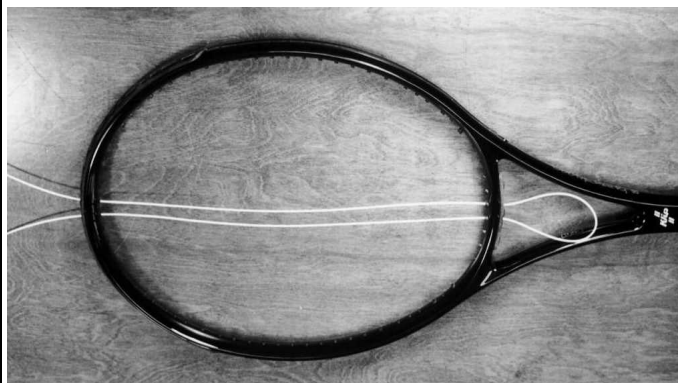
（上図の赤い矢印参照）の数が2か6ある場合。

メソッドB：スロートエリアのストリングホール

（上図の赤い矢印参照）の数が4か8ある場合。

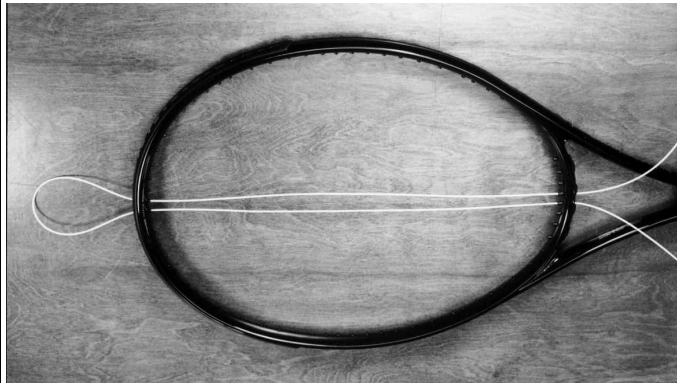
テニスラケット

メソッドA：ストリングホール2か6



スロートエリアの中央の左右2本のストリングホールにストリングを通し、先端をトップフレームの相対する中央のストリングホールに通します。
左右のストリングの長さを同じにしてください。

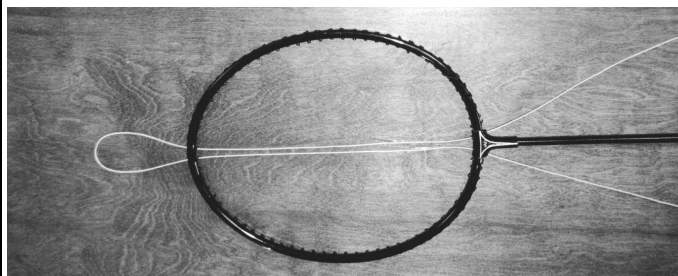
メソッドB：ストリングホール4か8



トップフレームの中央の左右2本のストリングホールにストリングを通し、先端をスロートエリアの相対する中央のストリングホールに通します。
左右のストリングの長さを同じにしてください。

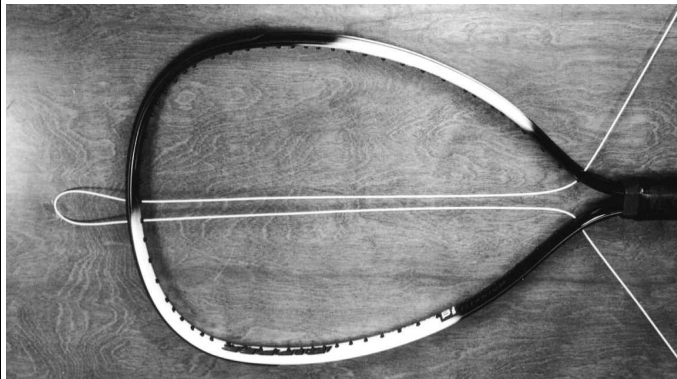
メソッドBはグリップとフレームが1本の支柱でつながる構造を持つバドミントン・スカッシュ・ラケットボール等のラケットに多く適用されます。

バドミントンラケット：メソッドB



ストリングは支柱の左右に分けてホールを通します。
左右のストリングの長さを同じにしてください。

ラケットボール・スカッシュラケット：メソッドB



ストリングは、グリップの左右にトップからボトムにかけてストリングホールを通します。
左右のストリングの長さを同じにしてください。

以上のA~Dの情報=「ストリングパターン」は兵丹島ウェブサイトで公開しています。
(新製品や一部ラケットメーカーを除き、大半のラケットを網羅しています。)

サイトのURLは <https://hyotann.raku-uru.jp/> です。

Yahoo・google等の検索エンジンで「兵丹島」と打ち込んでください。

兵丹島サイト真ん中の「ガット張り作業お役立ち情報」から「ストリングパターン表」を選択してください。

ガット張り作業の手順説明は以上ですが、「ストリングパターン」表には、適正テンションが表示されています。
適正テンション範囲内でガット張り作業を進めてください。

1-2. 「ストリングパターン表」の見方

ストリングパターン表は兵丹島ウェブサイト

<https://hyotann.raku-uru.jp/> にラケットメーカー毎に掲載しています。

Yahoo・google等の検索エンジンで「兵丹島」と打ち込んでください。

兵丹島サイト真ん中の「ガット張り作業お役立ち情報」から「ストリングパターン表」を選択してください。

1. まず、ストリングパターン表からお持ちのラケットのメーカーを選択いただき、アルファベット順に並んだラケットリストの中からラケットの規格名を確認して下さい。
2. テンションTENSIONはメーカーが推奨するガット張りの強さで単位はポンドで表示しています。
3. フィート表示のストリングの長さLENGTH feetは21`M-18`CとするとメインストリングMに21フィート・クロスストリングCに18フィートのストリングの長さが必要という意味です。
4. メートル・センチ表示のストリングの長さLENGTH m/cmは6m40cmM-5m50cmCとするとメインストリングMに6m40cm・クロスストリングCに5m50cmのストリングの長さが必要という意味です。通常はこちらの方で計測して下さい。
5. たとえば、フィート表示39`-10`S・メートル表示11m90cm-3m5cmSという表示のラケットはワンピースストリングでガット張り作業をしていって下さい。
ストリングの全長が39`(11m90cm)必要で、片方に10`(3m5cm)残してストリングを開始して下さい。
6. パターンPATTERNは16M×19Cの場合、メインストリングMを16本・クロスストリングCを19本張ることを表しています。
7. メインを通さないホールSKIP M HOLESは8T-8Bの場合、左右ともラケットトップTから数えて8番目・ラケットボトムBから数えて8番目のホールをスキップSKIP（飛ばして）してメインストリングを張っていきます。
8. メインの結びTIE Mはメインを張り終わった後にノット（結び）をつくるホールです、たとえば6Bであれば左右ともラケットボトムBから数えて6番目のホールです。
9. クロスのスタートホールSTART Cはクロスストリングを開始するホールです。たとえば8TであればラケットトップTから数えて8番目のホールに最初のクロスストリングを通します。
10. クロスの結びのホールTIE Cはクロスストリングの最初につくるノット（結び）のホールです。たとえば5T-11BであればラケットトップTから数えて5番目のホール・ラケットボトムBから数えて11番目のホールでノット（結び）をつくります。
11. 番号及びTまたはBは次ページ図をご参照下さい。
(次ページ図の場合は、メインを通さないホールSKIP M HOLE = 7,9T-7,9Bを表示しています。)

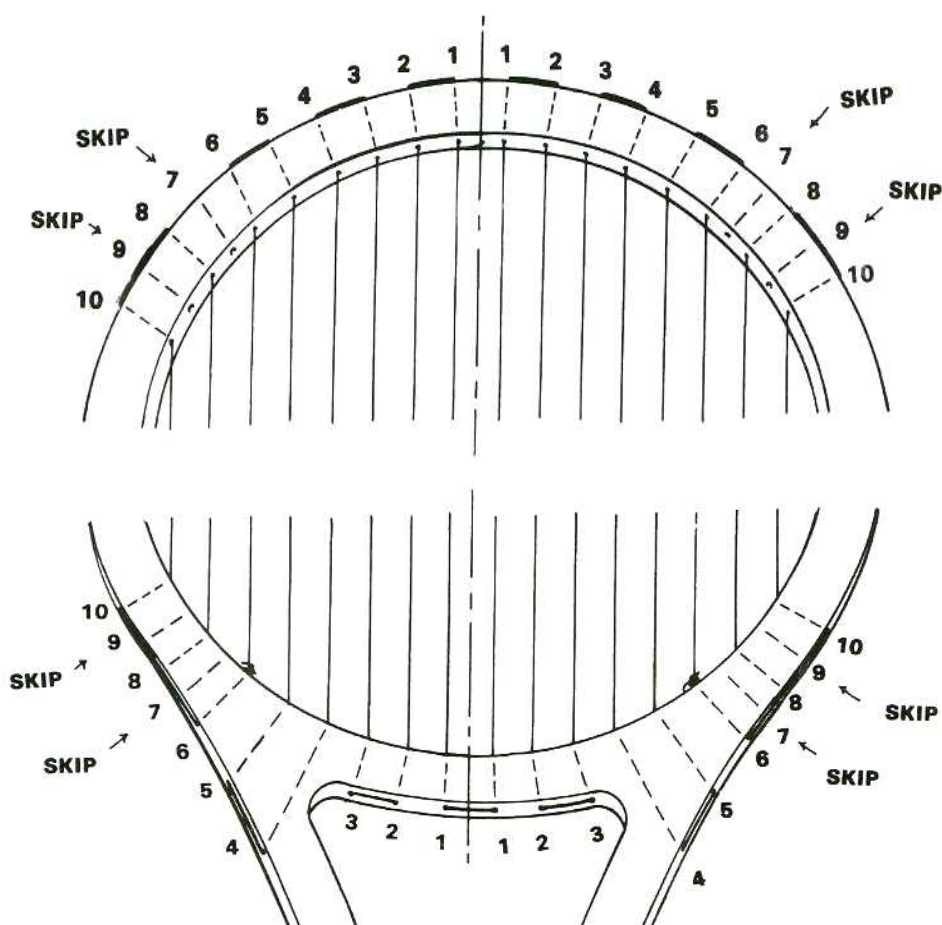
なお、添付のストリングパターン表はテニス「BABOLAT」、バドミントン「YONEX」、スカッシュ「HeadSquash」、ラケットボール「E-ForceRacquetball」のみです。

[参考]

ストリングパターン表に掲載されていないラケットにつきまして

メインストリングの長さ：大半のラケットは6m70cmあれば大丈夫でしょう。

クロスストリングの長さ：大半のラケットは6m10cmあれば大丈夫でしょう。



下記、兵丹島のウェブサイトには、現在のテニス・バドミントン・ラケットボール・スカッシュラケットのストリングパターンを掲載しています。

サイトのURLは <https://hyotann.raku-uru.jp/> です。

Yahoo・google等の検索エンジンで「兵丹島」と打ち込んでください。

兵丹島サイト真ん中の「ガット張り作業お役立ち情報」から「ストリングパターン表」を選択してください。

クリッパーUSA社のサイトでも英語・feet表示ですが掲載しています。

<http://www.klipperusa.com/stringing/manufacturers.php>

ストリングパターンを随時更新していますが、販売開始直後の新製品や新興メーカーについては対応できていないこともありますので、あしからずご了承下さいませ。